



どうなる香美町の水産

町外へ移りたい理由（「町外へ移りたい」と答えた人への質問。上位5位）			
男性（N=60）		女性（N=78）	
①生活が不便だから	58.3%	①生活が不便だから	55.1%
②医療・福祉サービスが不十分だから	45.0%	②医療・福祉サービスが不十分だから	42.3%
③子どもの教育環境が不十分だから	35.0%	③人間関係が煩わしいから	35.9%
④人間関係が煩わしいから	30.0%	④子どもの教育環境が不十分だから	23.1%
⑤子育て環境が不十分だから	28.3%	⑤やりたい仕事がないから	21.8%

令和元年アンケート抜粋



吉川 康治 議員

多様性を認め、今住んでいる人が住みやすいと感じられるまちになれば、

## 多様性を考えた地域づくりを

町長しつかり対策を練ります／教育長様々な施策を考えます



外から来た人たちも住みやすいと感じてもらえる。さらに子どもたちが夢をかなえられ、未来をつなぐと掲げられているこのまちで、未来を過ごしていただける地域づくりというのには重要であると考えるが町長と教育長の考えは。

町長 ご指摘の点は、移住定住政策、若者定住政策について肝の部分だと思えます。摩擦やあつれきが生じないような形での移住の受入れや、このまちで育った方々に住み続けていただけるまちづくりというのは永遠のテーマであり、今後もそ

ういう見地からしつかり対策を練ります。  
教育長 子どもや保護者の多様な声に応えることが大事だと思つています。中でも少子化の進行、地域コミュニティの弱体化、核家族化の進行などが学校運営に大きく影響を与えると考えています。それについても様々な施策を講じていかなければならないと考えています。

## 香美町の水産業の展望について問う 積極的に関与し頑張っています



西川 誠一 議員

香美町における水産業は基幹であり中核であると確信している。しかし、昨今は漁船の減少、燃油や資材の高騰、漁船員の確保等様々な社会的環境が悪化している。また、「香美町の水産

を考える会」では新しい大胆な方向付けがなされようとしており、幾度も協議がなされている。町はこのような状況下において主導的に関与し今後の町の産業形態を考えるべきではないか。

町長 本町の漁獲状況は需要があっても、漁獲は減少傾向で原材料費が上がっている状況だと聞いています。温暖化による海水温の上昇、魚介

「香美町の水産を考える会」も座長は漁協で、漁協の将来を担う大きな壮大なテーマを検討する中で始まった会です。香美町香住の港と柴山の港を今後どうするかというテーマは行政側でリードできません。